

作成日：R5 年 10 月 20 日

令和 5 年度第 4 回 高松圏域自立支援協議会 精神保健福祉部会議事録

日付	令和 5 年 10 月 20 日（金）
時間	10：00～11：30
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター福祉センター2 階研修室
参加機関等	高松市健康づくり推進課、高松市障がい福祉課、県精神保健福祉センター、東讃保健所、大西病院、相談支援事業所 EVEN、障害者地域生活支援センターほっと、ピアポーター、高松市障がい者基幹相談支援センター（中核拠点） 順不同 計 11 名

議題 1： 情報交換

議事	・東讃保健所では次年度のひきこもり予算を増額できれば、大川圏域自立支援協議会と連携して民生委員や家族などを対象に他県から講師を招きひきこもりに関する講演会を検討している。 ・市町として精神障害に対する相談業務について力を入れていく。 ・自殺対策ゲートキーパー養成研修講師派遣について、希望があれば県精神保健福祉センターへ問い合わせをして欲しい。 ・高松市障がい者基幹相談支援センターでは、自殺ゲートキーパーの講師派遣を依頼し研修会を開催予定。 ・自殺対策普及啓発用のきーもんは依頼があれば貸し出し申し込み可能。啓発グッズは自殺ゲートキーパー養成研修受講者に配布している。
----	---

	・自殺対策に関する啓発活動を 10/28 とらまる公園にて開催予定。以前には徳島文理大学の文化祭でもきーもののダンスやチラシ配布、ストレスチェッカーなども活用し啓発活動を行った。 ・12/10（日）依存症についてオンラインセミナーを開催予定。詳細は決まり次第周知とする。 ・日本精神科看護協会香川県支部より虐待についてスーパーバイザー派遣事業の依頼があり、講師については現在検討中。 ・10/29 丸亀市にて身体障害者野球の四国大会開催。 ・ピアサポート活動推進ワーキンググループリーダーの担当を暫定的に交代し、今後確定していく予定。 ・居場所定例会（第3土曜）開催。家族、当事者が平均7～8名ほどが参加している。
--	--

議題2： 精神科病院より

議事	・コロナは落ち着き、面会は通常通りとなっている。院内運動会を開催し入院患者だけではなくデイケア利用者も競技や応援に参加する方もおり（当事者のみ）、作業療法の中でダンス練習をし当日披露した。
----	--

議題3： 保健・医療・福祉の連携ワーキンググループの報告

議事	各病院へのインタビュー結果から、意見をまとめニーズについて検討。開催時期や頻度は検討中だが、各病院を会場として、交流したい地域支援者等が申し込んだ病院へ集合することも案として出ている。会場についての詳細は検討が必要な段階。目的としては、顔の見える関係及び医療現場の空気感に触れながら交流、また連携について各立
----	---

	場・機能を明確化していく。参加者は院内のどなたでも可能なようにすることを想定している。 ⇒B 型事業所連絡会では各事業所同士が事業所へ見学に行きその後には見学をしたことについての座談会を開催するなどをしており、本企画も各地域の専門職や医療機関が繋がりの方がもてるものになればいいのではないか。 ⇒広報についてはチラシでの見せ方の検討が必要。
今後の動き	11 月開催の会議では内容を確定していく予定。

議題 4：ピアサポーター・スーパーバイザー派遣の報告	
議事	<ピアサポートの活用に係る事業（個別支援）> ・市内在住の精神障がい者にピアサポーターを派遣 →8 月：1 件、10 月：2 件実施 <ピアサポートの活用に係る事業> ・9/27 社会福祉法人花咲会（愛媛県新居浜市）と高松市障がい者基幹相談支援センターピアサポーター交流会にピアサポーターを派遣 ・10/16 高松圏域自立支援協議会当事者団体家族会連絡会にピアサポーターを派遣 <精神障害者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修に係る事業> ・8/10 高松市統合失調症家族教室にスーパーバイザーを派遣
今後の動き	<ピアサポートの活用に係る事業（個別支援）> ・1 件、派遣依頼についてピアサポーターのマッチングを図っている。 <精神障害者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修に係る事業> ・11/1 中讃保健福祉事務所にて中讃圏域ネットワーク会議にスーパ

	ーバイザーを派遣予定。
--	-------------

議題 5：ピアサポート活動推進ワーキンググループの報告	
議事	9/8 開催したワーキンググループ内容の報告 ・パンフレット配布状況の確認。 ・令和 5 年度の計画を検討中。守秘義務のある地域住民に近い支援者などを対象にした研修を行い、障がいに対する啓発、ピアサポート活動を共にする仲間を集めることを目的として活動する。 ・民生委員は地域住民に近いところで悩んでいる方も多くいるため、ピアサポーターの存在を知ってもらうことで、連携先の一つとして活用していただく、選択肢を増やす意味でもいいのではないかな。 ・対象となる専門機関へ出向いていく中でアプローチをし、その機関との関わりがある者が行って繋がりを持つことで意図することが伝わりやすいのではないかな。 ・広く普及啓発がしたいのであれば、理解を促すためのリカバリーストーリーやシンポジウム、具体的に知って欲しいのであれば、活動報告、グループワークを活用できるのではないかな。どのようなことを伝えたいかを明確化する必要がある。
今後の動き	来年度の計画については次回 11 月開催時に内容を詰めていく。

議題 6：高齢者分野との連携に関する報告	
議事	高松市介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント研修会を 1/23（火）午前・午後の二部制（同内容）で開催予定。精神保健福祉部会からの参加者を募る（午前 6 名、午後 6 名）。

議題 7：その他	
議事	・東讃圏域では退院に当たり相談支援担当者が見つからない場合には、各市町担当者に相談することで対応ができる。

次回部会開催予定

日時：令和 5 年 12 月 15 日(金) 10：00～11：30

場所：かがわ総合リハビリテーションセンター福祉センター2 階